

# 研究員のみなさんへ

## 1 はじめに

これまで小理研の研究組織は、研究推進委員長と研究部を中心として、研究員とともに研究実践を行ってきました。また、各都市では、小理研の研究テーマを受けて、それぞれの地区毎にテーマを設定し、校外研等で研究実践を行ってきました。

令和7年度も、これまでと同様の研究体制で、研究テーマに沿った研究実践を行い、研究テーマを具現するための手立てを検証していきたいです。各地区の代表として、また、岐阜県の理科の教育をリードする存在として、活躍を期待しています。

## 2 研究員について

### (1) 研究員決定までの手順

- ① 令和7年5月の各市町村の教科研究会等で各市町村の研究員を話し合い、決定する。
- ② 各地区理事から、候補者の学校長、本人に研究員の依頼をする。
- ③ 承認していただけた場合は、研究員が、総合教育センターの理科教育講座（小）に申し込み、研修の行われる日時を確認する。

### (2) 研究員の役割

研究員として

- ・総合教育センターの理科教育講座（小）を受講する。（年間3回）  
令和6年度は、6月、10月、1月に開催。

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5-9-1  
Tel 058-271-3450  
総合教育センター 担当：岐阜県教育委員会教育研修課

- ・夏季ゼミナールに参加する。
- ・各小理研大会に参加する。（R8年 岐阜県美濃大会等）
- ・小理研の研究テーマに基づいた研究実践を進め、実践報告を行う。  
実践報告の場として・・・
  - 1月の理科教育講座（小）で（全員）
  - 令和7年度の夏季ゼミナールで（6人ほど）
  - 2月の代議員会で（1，2名）
  - 各市町村の年度末の教科研究会等で（各市町によって）
  - 小理研HPに掲載（全員の予定）

など、広く発信する。

### (3) 研究員の人数

地区名	岐阜	西濃	美濃	可茂	東濃	飛騨	合計
人数	7・8	5・6	2人	3・4	3人	3人	23~26人

ただし、年度によって各地区の人数は、変動することがある。